

## まちかどトーク（大滝地区）議事要旨

日時：令和7年12月19日（金）19:00～20:30

場所：大滝集会所

参加者：30人

### 1 市長あいさつ

### 2 市政に関する説明

「災害に備えよう」について危機管理課から説明の後、質疑応答

#### 参加者

地域交通システム導入に向けて、住民アンケートを行った。導入に向けて市の支援をお願いしたい。

#### 市長

路線バスなどの骨格的な公共交通を改善するため、動き始めたところである。地域で具体的に活動いただいているものについては、行政も協力していく。

#### 参加者

大滝連合自治会では結ネットを導入し、240世帯のうち100を超える世帯が利用している。災害時の緊急情報が結ネットに届くようになると、未利用世帯の利用のきっかけになると思う。また、結ネット導入時に補助制度を活用したが、次年度以降も継続してほしい。

#### 危機管理課

市からの緊急情報はエリアメールの他、LINEや防災メールでお知らせしている。結ネットは担当課や自治会長が情報を送る必要があるため遅くなる。

#### 市長

配信が遅れても、様々なツールで情報を伝えた方が良いと思うため、結ネットの活用を含めて検討したい。結ネットに係る補助制度の継続は、前向きに検討したい。

#### 参加者

福岡中学校、福岡高校は災害時の避難所になっているが、緊急時に鍵が開くか心配している。

12月25日に洪水を想定した避難訓練を行う予定であるが、避難先のさくら会館に備蓄品の配置が無いのはいかがなものか。

#### 危機管理課

福岡小学校体育館には震度5弱の際に自動で開き体育館の鍵を取り出せる地震解錠ボックスを設置済みである。ダイヤルロックでも開錠するため、近隣住民に暗証番号を伝えており、開錠の訓練も実施している。福岡中学校は今年度設置する予定である。大滝地区の住民にも番号を伝え、訓練への参加もお願いしたい。

福岡地区の備蓄品は福岡小学校に集約されており、そこから市職員が運搬するため、若干時間要する。日頃から水や食料、携帯トイレなどを入れた非常用持出袋を準備し、

避難の際はある程度の物資は持参いただきたい。さくら会館に備蓄品が無いという状況は、管理や置き場の問題もあるが、何が出来るのかを検討したい。

#### 参加者

県管理の黒石川では土のうの用意など、災害時の対策がとられているのか。黒石川が増水し、福岡中学校が浸水した際の県の対応を聞いていない。

#### 危機管理課

県では地久子川や谷内川など溢水のあった河川の改修を進めている。黒石川については、引き続き、県に要望していく。

市では昨年度から要望のある地域に土のう袋と砂を提供しているので、ぜひ地域で活用いただきたい。

#### 参加者

大滝地区では、防災訓練を何度も実施している。しかし、自治会単位の防災組織が機能していないのは、自治会の責任だと認識している。以前に市が福岡中学校で大規模な訓練を実施し、参加して非常に良い経験ができた。今後の訓練の計画について知りたい。

#### 危機管理課

市内各地区で大規模な訓練を順次実施しており、今年度は戸出・中田地区で実施した。毎年1~2中学校区で実施しており、9年に1度は訓練が回ってくる。現在のローテーションは令和8年度で終了し、令和9年度から新たな順番で訓練を行っていく。令和9年度以降の実施計画は住民の皆様のご意見も考慮して決めていきたい。

#### 参加者

新幹線や高速道路の高架橋を避難場所として利用できないか。

#### 危機管理課

開辟地区は内水被害がなく、小矢部川が決壊した場合も浸水は1m未満のエリアがほとんどである。水平避難よりも自宅2階などに垂直避難する方が安全と思われる。

#### 市長

大規模な訓練は住民の皆様に熱心に参加いただいている。再来年以降、訓練の頻度を増やすことも検討したい。

#### 参加者

災害時、大滝地区で危険となる場所を知りたい。

#### 危機管理課

小矢部川付近の荒屋敷や本領、岸渡川の淵も危険である。2~3mの水が付くと、外出は困難となる。日頃からハザードマップを確認し、災害時は早めに水平避難いただきたい。

#### 参加者

海水温の上昇など、自然の変化の影響により小矢部川は水位が高くなっている。水害の可能性が高い梅雨や夏場は、用水の水量も多い。その時期に大雨が降った場合、田んぼが雨水を吸収することになる。大滝や開辟地区では、単に田んぼを広げるだけでなく、あぜを高く作り、田んぼダムとして基盤整備をしている。砺波や小矢部など上流の土地改良区にも働きかけ、水害を防ぎたい。

#### 危機管理課

上流の砺波では田んぼが減り、施設や宅地が増加し、下流地域が影響を受けている。呉

西圏域の場などで協議し、広域的な視点で防災を考えていきたい。

#### 参加者

本領地域には黒石川、唐俣川、大井川、古川があり、住民が河川の藻を切ったり、草刈りをしているが、高齢化によって作業の担い手が減少している。

災害時、より身近な本領集会所を避難所として活用したいと思っている。看板の設置など市から補助をいただきたい。

#### 危機管理課

市内には約 140 か所の指定避難所があり、災害時は職員が避難所に出向いて住民のケアを行っている。対応する職員の人数や体制を考慮すると、指定避難所の増設は困難だが、届出避難所登録制度を実施しており、条件を満たす場所であれば市が届出避難所として登録し、最低限の備蓄品を渡している。立地や耐震性など建物の状況を確認しながら、お話をさせていただきたい。

#### 市長

届出避難所や田んぼの整備など、地域の一人ひとりが出来ることを取り組んでいただきたい。

### 3 意見交換

「高岡市人口ピラミッド」を基に、市長より説明の後、意見交換

#### 参加者

大滝地区では子どもが誕生したら 2 万円の祝金を渡している。市は祝金や分娩費用の助成などを実施しているのか。

#### 市長

分娩費用に関しては国が支援を拡充しており、市独自の助成は行っていない。市では今年度 0 歳児を対象におむつの無償提供を行った。また、国では小学生の給食費無償化を決定し、国が定めた上限を超えた分は市が支出するため、財政負担が伴う。少子化対策は簡単ではないが、継続しなくてはいけない。

#### 参加者

高岡市で出会いのきっかけを作るイベントなどを開催してはどうか。

#### 市長

問題は未婚率の高さであり、婚活は行政の後押しが必要だと考えている。令和 8 年度、結婚支援に力を入れることを検討している。

#### 参加者

合併前の福岡町は除雪体制が良かったが、合併後は悪くなってしまった。除雪に費用がかかるのは承知しているが、充分な除雪を検討して対策いただきたい。

#### 市長

除雪車は一定の降雪量が見込まれる場合に出動させている。多数の除雪車は稼働しているが、行き届いていない場所もある。意見を踏まえ、少しでも不便のないように考えたい。